

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

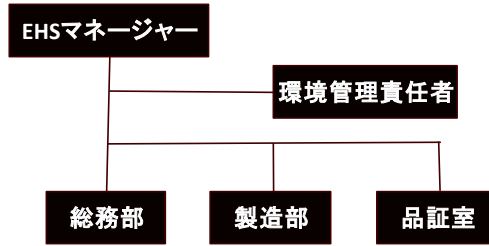
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 17日	
都道府県知事	
鈴木 康友 殿	
提出者	
住所 静岡県袋井市湊4207-2	
氏名 高砂フードプロダクツ株式会社	
代表取締役 平本忠浩	
電話番号 0538-23-3411	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	高砂フードプロダクツ株式会社
事業場の所在地	静岡県袋井市湊4207-2
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	099 その他の食料品製造業
②事業の規模	製造品出荷額40.06億円
③従業員数	141名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR subgraph BusinessPremises [事業所] direction LR A[製造] --> B[工場排水] B --> C[排水処理] C --> D[脱水] end D --> E[外部処理] </pre>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

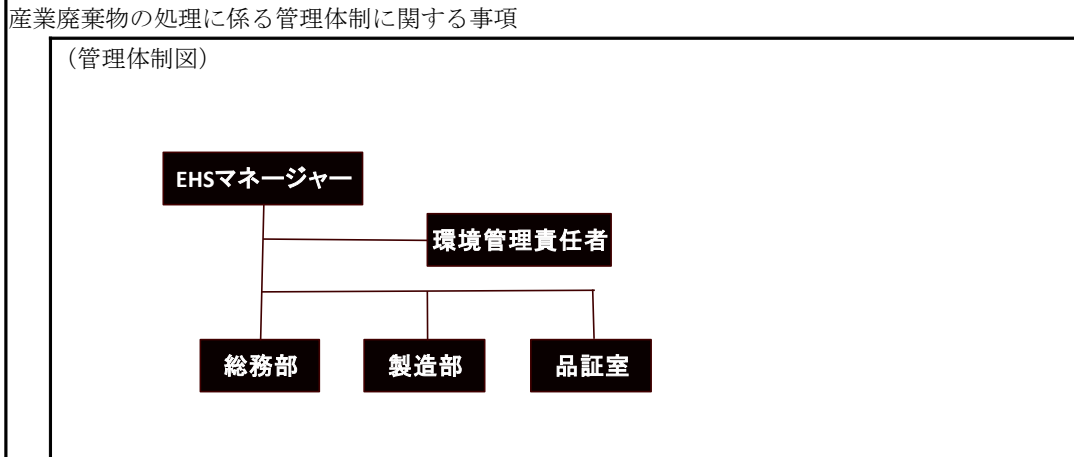


産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	排出量	3500.51 t	21.03 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥；脱水による減容化。散気管導入による溶存酸素効率向上により汚泥転換率の低減。曝気の自動化により安定した溶存酸素を確保することにより汚泥転換率の低減。 安定型混合廃棄物；分別を実施により一部有価化または再生利用化により安定型混合廃棄物を低減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	排出量	3325.1 t	19.98 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別表の作成により、分類の明確化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

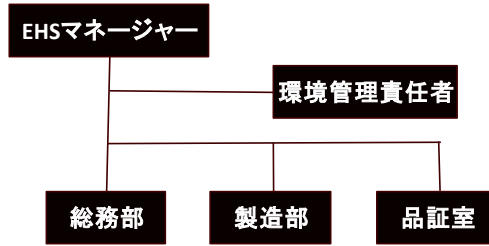
①現状	【前年度 (令和 5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず
	排出量	0.97 t	0.69 t
	(これまでに実施した取組) 分別表の作成により、分類の明確化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず
	排出量	0.92 t	0.66 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別表の作成により、分類の明確化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

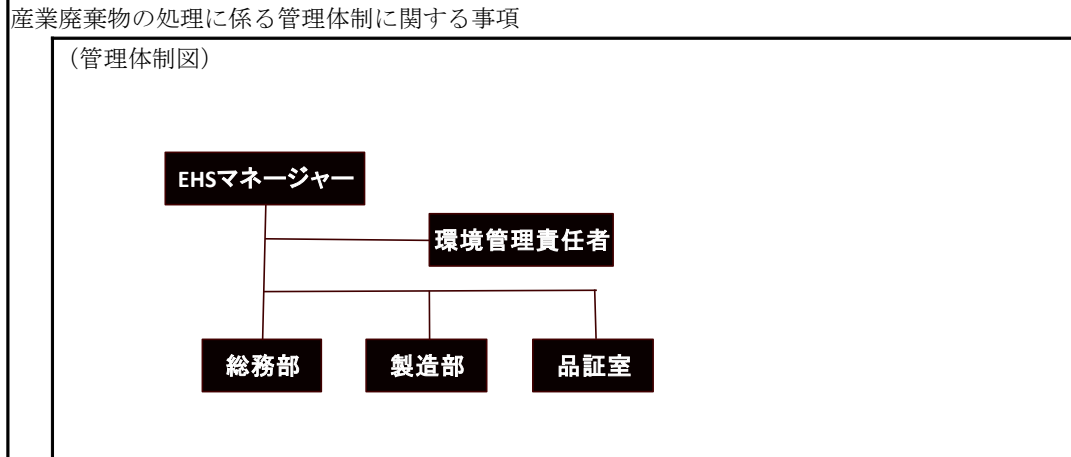


産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	排出量	0.31 t	0.12 t
	(これまでに実施した取組) 分別表の作成により、分類の明確化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	排出量	0.3 t	0.11 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別表の作成により、分類の明確化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

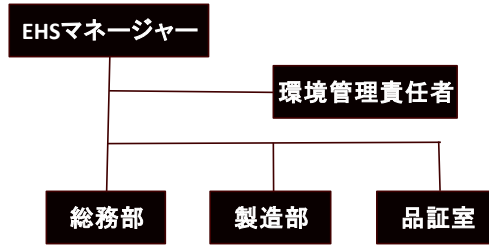
①現状	【前年度 (令和 5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
	排出量	269.27 t	0.001 t
	(これまでに実施した取組) 分別表の作成により、分類の明確化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
	排出量	255.8 t	0.001 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別表の作成により、分類の明確化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

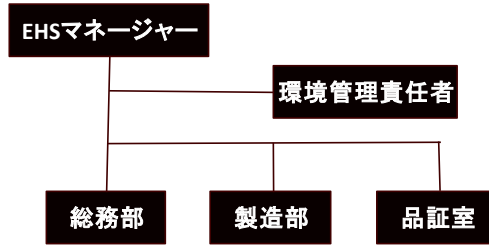
①現状	【前年度 (令和 5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
	排出量	241.01 t	0.12 t
	(これまでに実施した取組) 分別表の作成により、分類の明確化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
	排出量	229 t	0.11 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別表の作成により、分類の明確化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	排出量	1.54 t	25.1 t
	(これまでに実施した取組) 分別表の作成により、分類の明確化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	排出量	1.46 t	23.85 t
	(今後実施する予定の取組) 現状継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別表の作成により、分類の明確化
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥の肥料化 分別による廃プラスチックの再利用化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 継続実施		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	3150.1 t	0 t
(これまでに実施した取組) 汚泥の脱水 安定型混合廃棄物の分別による廃プラスチック類の再利用化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	2992.6 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 継続実施			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
	②計画	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		0 t	0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) なし			
【前年度（令和 5年度）実績】			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 分別による一部有価販売		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 継続実施		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） パンチング桶による自然脱水（未計量）		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 継続実施		
	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） なし		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） なし		
	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 廃油；機械油の分別により一部有価販売		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 継続実施		
	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） なし		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） なし		
	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
産業廃棄物の種類		汚泥	安定型混合廃棄物
全処理委託量		350.051 t	21.03 t
優良認定処理業者への処理委託量		0 t	21.03 t
再生利用業者への処理委託量		350.051 t	21.03 t
認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 分別による再資源化			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
①現状	全処理委託量	0.97 t	0.69 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.97 t	0.69 t
	再生利用業者への処理委託量	0.97 t	0.69 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 分別による再資源化		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
①現状	全処理委託量	0.31 t	0.12 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.31 t	0.12 t
	再生利用業者への処理委託量	0.31 t	0.12 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 分別による再資源化		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
産業廃棄物の種類		動植物性残渣	廃アルカリ
全処理委託量		269.27 t	0.001 t
優良認定処理業者への処理委託量		7.03 t	0.001 t
再生利用業者への処理委託量		269.27 t	0.001 t
認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 分別による再資源化			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
	①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
産業廃棄物の種類		廃酸	廃電地類
全処理委託量		241.01 t	0.12 t
優良認定処理業者への処理委託量		241.01 t	0.12 t
再生利用業者への処理委託量		241.01 t	0.12 t
認定熱回収業者への処理委託量		0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 分別による再資源化			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
①現状	全処理委託量	1.54 t	25.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.54 t	25.1 t
	再生利用業者への処理委託量	1.54 t	25.1 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 分別による再資源化		
	産業廃棄物の処理の委託に関する事項		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	332.51 t	19.98 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.001 t	19.98 t
	再生利用業者への 処理委託量	332.51 t	19.98 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥脱水による減容化 分別強化による混合廃棄物の低減		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	0.92 t	0.66 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.92 t	0.66 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.92 t	0.66 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	蛍光灯
	全処理委託量	0.3 t	0.11 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.3 t	0.11 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.3 t	0.11 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃アルカリ
	全処理委託量	255.8 t	0.001 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	255.8 t	0.001 t
	再生利用業者への 処理委託量	255.8 t	0.001 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 搾り脱水による動植物性残渣の減容化		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃電地類
	全処理委託量	229 t	0.11 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	229 t	0.11 t
	再生利用業者への 処理委託量	229 t	0.11 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 処理場能力拡大による廃酸の内部処理		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	全処理委託量	1.46 t	23.85 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.46 t	23.85 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.46 t	23.85 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。